



# マアナゴ伊勢・三河湾 令和5年度資源評価結果

# 生物学的特性

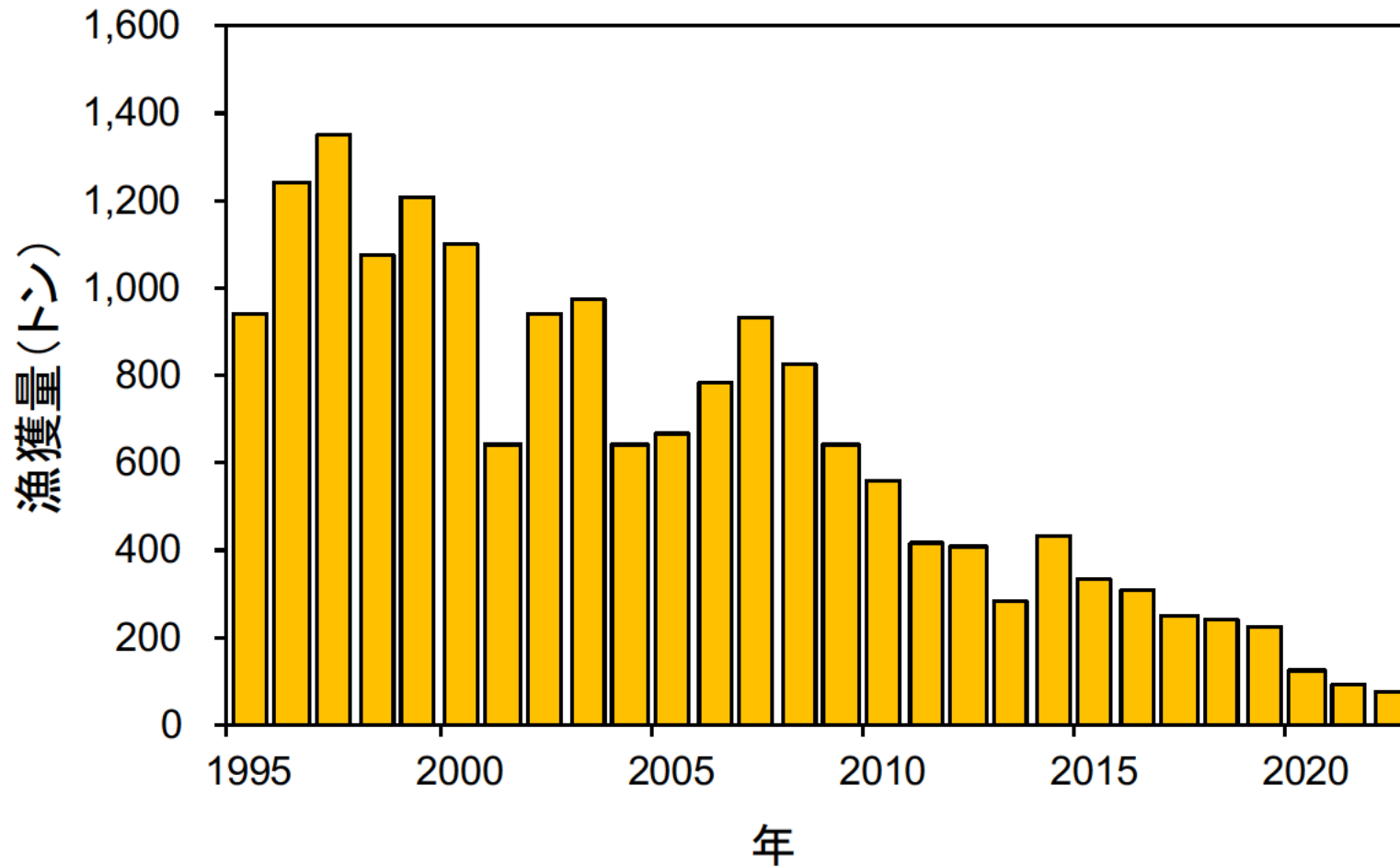


## 生物学的特性

- 寿命：4歳以上
- 成熟開始年齢：不明
- 産卵期・産卵場：  
詳細は不明、産卵場は沖ノ鳥島南方の九州パラオ海嶺付近に唯一確認されている
- 食性：  
稚魚は小型の底生生物、成長につれ多毛類、エビ類、魚類、軟体類
- 捕食者：不明

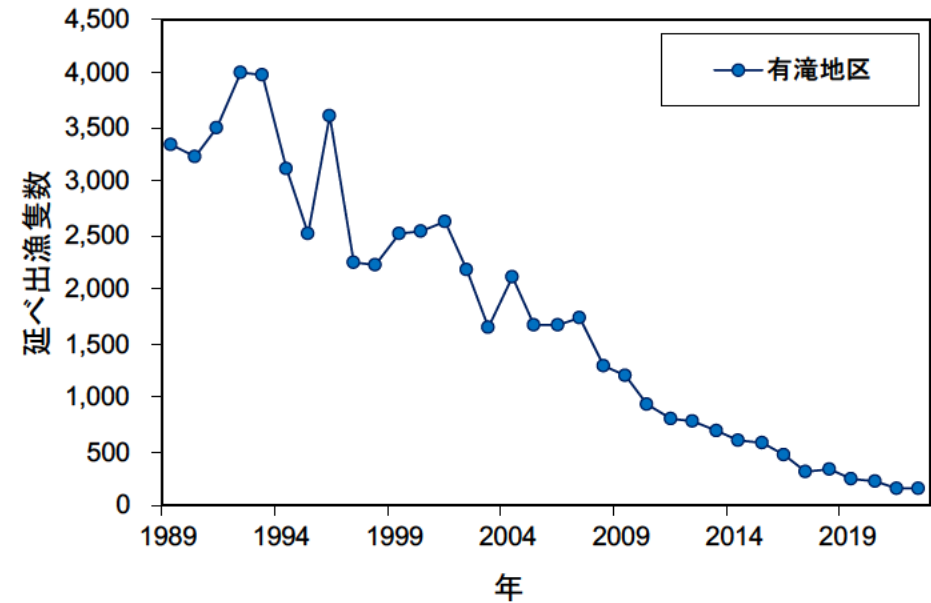
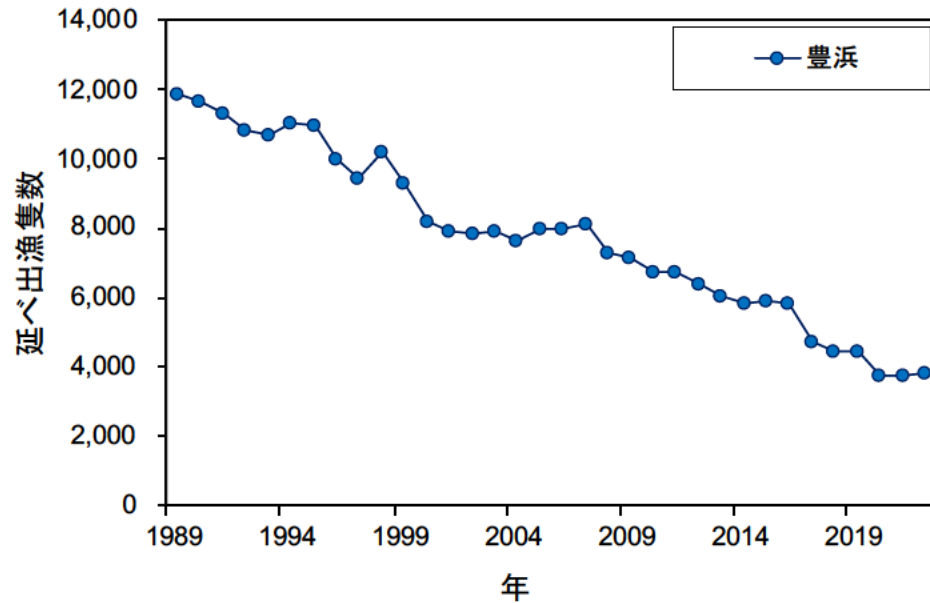
- 外洋の産卵場から仔魚が長距離回遊し来遊する
- 広域にわたる資源の一部

# 漁獲の動向①



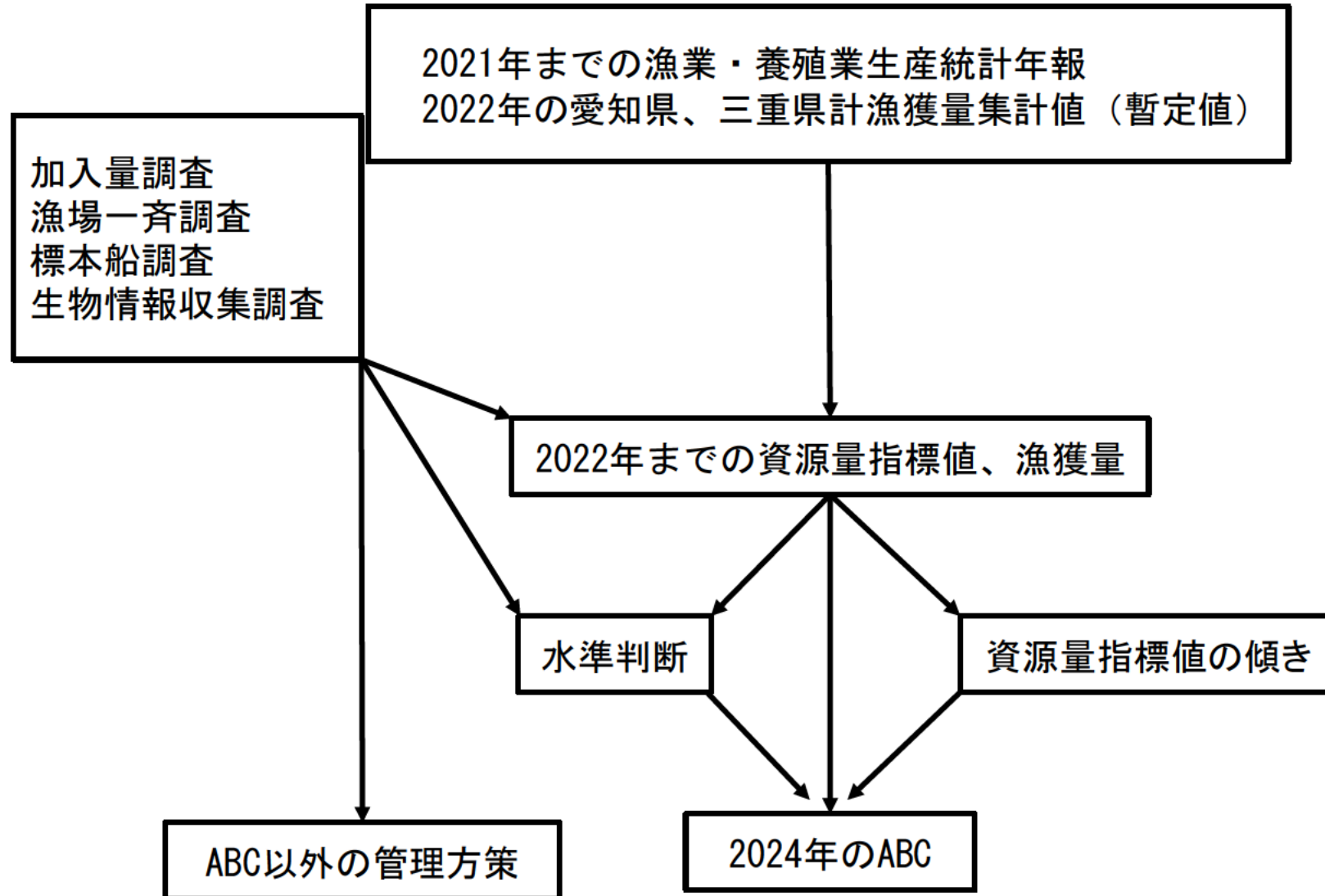
- 伊勢・三河湾では、主に、小型機船底びき網漁業（小底）、かご漁業により漁獲される
- 2022年のマアナゴ漁獲量（伊勢・三河湾内）  
愛知県：75トン      三重県：3トン      計：78トン

# 漁獲の動向②

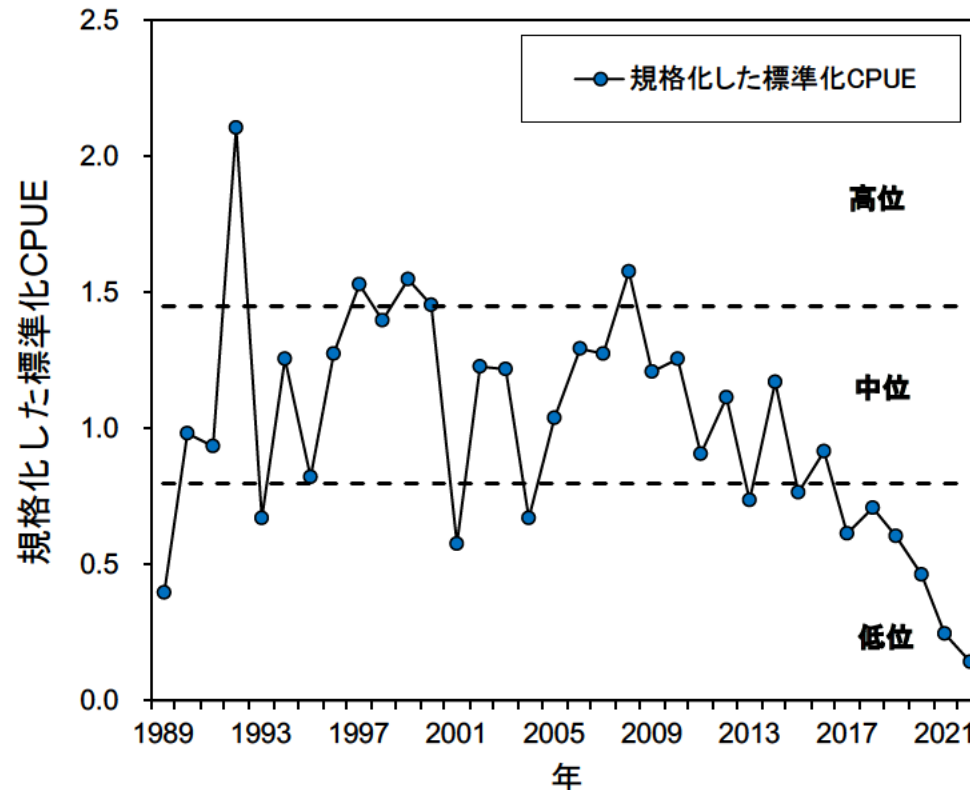


- 漁獲努力量は減少傾向にある
- 2022年の小底標本漁港の漁獲努力量  
愛知県豊浜：3,840隻・日    三重県有滝：171隻・日

# 資源評価の流れ



# 資源の動向



※水準区分 低位／中位：標準化CPUE 0.79 中位／高位：標準化CPUE 1.45  
(平均値が1となるよう規格化した標準化CPUEの値で水準判断)

- 愛知県・三重県主要港の小底の標準化CPUEから判断
- 資源水準：2022年の標準化CPUEは0.14であり「低位」
- 資源動向：直近5年間（2018～2022年）の標準化CPUEの推移から「減少」

※標準化CPUE：水揚げ港による操業の偏りを取り除いた単位努力量当たりの漁獲量<sub>6</sub>

# 資源評価のまとめ

- 伊勢・三河湾内のマアナゴ漁獲量は、2022年は78トン
- マアナゴ伊勢・三河湾の資源水準は「低位」、動向は「減少」

## 2024年ABC

管理基準	Target/Limit	2024年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値 からの増減%)
0.7・Ct・0.44	Target	24	—	—
	Limit	29	—	—

- ABC算定規則の2-1)により、 $ABC_{limit} = \delta_1 \cdot Ct \cdot \gamma_1$ で計算
- $\delta_1$  : 0.7 (Caveを用いる場合の低位水準の推奨値)
- Ct : Cave 3-yr (直近3年間(2020~2022年)の平均漁獲量)
- $\gamma_1$  : 0.44 (直近3年間の資源量指標値の傾きと平均値から算出)